



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 石原ケミカル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4462 URL <https://www.unicon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 保幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 山口 恭正 (TEL) 078-681-4801  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	16,785	6.5	1,447	△1.3	1,529	△2.0	1,049	△7.6
2019年3月期	15,756	5.3	1,467	26.4	1,561	28.2	1,135	26.5

(注) 包括利益 2020年3月期 985百万円(△7.1%) 2019年3月期 1,061百万円(17.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	129.36	—	5.6	6.7	8.6
2019年3月期	139.26	—	6.3	7.1	9.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	22,945	18,909	82.4	2,353.89
2019年3月期	22,742	18,481	81.3	2,266.57

(参考) 自己資本 2020年3月期 18,909百万円 2019年3月期 18,481百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	748	△45	△592	3,551
2019年3月期	1,300	△272	△282	3,440

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00	309	27.3	1.7
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	323	30.9	1.7
2021年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		33.1	

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,860	△5.1	390	△54.7	450	△49.9	310	△51.5	38.59
通 期	17,000	1.3	1,240	△14.3	1,350	△11.8	970	△7.6	120.75

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	8,154,140株	2019年3月期	8,154,140株
② 期末自己株式数	2020年3月期	120,802株	2019年3月期	102株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	8,113,804株	2019年3月期	8,154,038株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復傾向が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、研究開発をさらに進めるとともに海外市場の開拓に積極的に取り組み、高付加価値製品の市場展開に努めてまいりましたが、前年度後半からの電子部品業界における市況減速の影響が引き続きました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高16,785百万円（前年比6.5%増）、営業利益1,447百万円（前年比1.3%減）、経常利益1,529百万円（前年比2.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,049百万円（前年比7.6%減）となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりであります。

#### <金属表面処理剤及び機器等>

当セグメントが対応する電子部品業界は、車載、スマートフォン関連の減産及び移動通信システム（5G）普及の遅れなどにより、前年度第4四半期から引き続き生産減となりました。

このような状況のもと、4K、8K及び有機EL化に対応した大型テレビ向けめっき液について、第3四半期以降は在庫調整がありましたが、上期は比較的堅調に推移したこと及び下期より新たに装飾めっきが加わり、前期を上回る結果となりました。

また、機器等の管理装置につきましては、主要ユーザーの稼働率低下の影響により、前期を下回る結果となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、8,490百万円（前年比8.6%増）となりました。

#### <電子材料>

機能材料加工品は、半導体市況の低迷によりエンブラ製品の売上は低調なもの、セラミック製品は特定ユーザー向けの加工品が好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、573百万円（前年比7.6%増）となりました。

#### <自動車用化学製品等>

自動車用エアコンフィルターの定期交換作業にあわせてエアコン洗浄を同時に施工するビジネスを継続して提案することにより、新規採用及び新規取組カーディーラーが増加し、エアコン洗浄剤は引き続き好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、2,686百万円（前年比4.4%増）となりました。

#### <工業薬品>

海外市況の低迷や自然災害など鉄鋼業界にとって厳しい環境が続く中、官庁向け入札案件の拡大や新規商材の拡販、既存商品の拡大により、好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、5,035百万円（前年比4.2%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産残高は、前連結会計年度末に比べ1,379百万円増加し11,234百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加1,218百万円であります。固定資産残高は、前連結会計年度末に比べ1,177百万円減少し11,710百万円となりました。主な増減は、投資有価証券の減少2,370百万円、長期預金の減少437百万円、有形固定資産の増加1,612百万円、無形固定資産の増加60百万円等によるものであります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ225百万円減少し4,035百万円、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ427百万円増加し18,909百万円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より111百万円増加し、3,551百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益が前年同期に比べ69百万円減少し1,499百万円となり、減価償却費454百万円、売上債権の増加204百万円及び法人税等の支払い478百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは748百万円（前年同期1,300百万円）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有価証券の売却及び償還による収入3,044百万円、有形固定資産の取得による支出1,604百万円及び子会社株式の取得による支出1,769百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは△45百万円（前年同期△272百万円）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の取得による支出231百万円及び配当金の支払い326百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは△592百万円（前年同期△282百万円）となりました。

### (4) 今後の見通し

次期見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による国内・海外経済に対する影響により、先行き不透明な状況が予想されます。

当社グループのメインセグメントである<金属表面処理剤及び機器等>が対応する電子部品業界において、新型コロナウイルス感染症の影響により車載、スマートフォン関連の減産が予想されますが、移動通信システム（5G）の普及や製造設備の自動化・ロボット化による設備投資などが見込まれます。

当社グループといたしましては、<金属表面処理剤及び機器等>において、装飾用めっきなど新規分野において具体的なテーマの獲得を目指し、既存分野においては、基板及びFPCメーカー向けめっき液の拡販や新規海外メーカーの獲得を目指します。

また、<自動車用化学製品等>において、新型コロナウイルス感染症の影響によるカーディーラー等の、サービス売上減が予想されますが、自動車用エアコンフィルターの定期交換時にエアコン洗浄を施工するビジネスのカーディーラーにおける採用を増やすとともに、コーティング剤、抗菌剤、消臭剤などについてもカーディーラーでの新規採用を目指し、コンパウンドの新製品発売により売上拡大を図ってまいります。

これらの結果、連結業績予想につきましては、売上高17,000百万円（前年比1.3%増）、営業利益1,240百万円（前年比14.3%減）、経常利益1,350百万円（前年比11.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は970百万円（前年比7.6%減）を見込んでおります。

なお、上記の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が上期まで継続すると仮定し、各セグメントにおける売上高減少要因を織り込んで作成したものであり、新型コロナウイルス感染症の終息時期により変動する可能性があります。

(注) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社は会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,840,059	5,058,324
受取手形及び売掛金	3,452,785	3,894,899
電子記録債権	298,253	373,341
有価証券	930,800	200,130
商品及び製品	604,029	650,607
仕掛品	118,113	164,448
原材料及び貯蔵品	571,607	663,341
その他	39,635	229,878
流動資産合計	9,855,284	11,234,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,704,879	6,379,366
減価償却累計額	△2,875,220	△3,101,716
建物及び構築物（純額）	1,829,658	3,277,650
機械装置及び運搬具	1,967,414	2,501,205
減価償却累計額	△1,745,368	△1,930,885
機械装置及び運搬具（純額）	222,045	570,319
土地	1,027,409	1,652,306
リース資産	230,787	239,187
減価償却累計額	△94,728	△119,331
リース資産（純額）	136,059	119,855
建設仮勘定	942,009	50,678
その他	1,004,063	1,198,492
減価償却累計額	△844,308	△939,587
その他（純額）	159,755	258,904
有形固定資産合計	4,316,937	5,929,714
無形固定資産	53,783	113,791
投資その他の資産		
投資有価証券	6,709,923	4,339,410
退職給付に係る資産	405,847	428,565
その他	1,404,985	904,148
貸倒引当金	△3,875	△5,250
投資その他の資産合計	8,516,880	5,666,874
固定資産合計	12,887,601	11,710,380
資産合計	22,742,885	22,945,352

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,667,084	1,683,559
電子記録債務	604,575	678,531
1年内返済予定の長期借入金	32,000	32,000
未払法人税等	280,670	66,086
賞与引当金	263,000	201,342
役員賞与引当金	44,800	24,400
資産除去債務	38,512	—
その他	911,943	671,645
流動負債合計	3,842,585	3,357,564
固定負債		
長期借入金	52,000	20,000
繰延税金負債	54,932	392,977
役員退職慰労引当金	—	15,248
退職給付に係る負債	—	57,293
その他	311,688	192,652
固定負債合計	418,620	678,170
負債合計	4,261,206	4,035,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,980,874	1,980,874
資本剰余金	2,293,384	2,293,384
利益剰余金	13,574,259	14,297,669
自己株式	△161	△232,026
株主資本合計	17,848,356	18,339,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645,125	582,463
為替換算調整勘定	△11,802	△12,748
その他の包括利益累計額合計	633,323	569,715
純資産合計	18,481,679	18,909,616
負債純資産合計	22,742,885	22,945,352

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	15,756,700	16,785,714
売上原価	10,691,117	11,419,167
売上総利益	5,065,582	5,366,547
販売費及び一般管理費	3,598,541	3,919,244
営業利益	1,467,041	1,447,302
営業外収益		
受取利息	23,310	21,535
受取配当金	50,338	46,852
有価証券売却益	—	2,225
受取賃貸料	18,661	18,520
その他	11,985	31,172
営業外収益合計	104,295	120,306
営業外費用		
支払利息	1,136	461
売上割引	2,073	1,971
為替差損	—	16,648
コミットメントフィー	2,757	—
賃貸費用	2,040	2,040
保険解約損	—	4,677
控除対象外消費税等	1,354	8,739
その他	523	3,213
営業外費用合計	9,886	37,751
経常利益	1,561,451	1,529,856
特別利益		
固定資産売却益	69	2,389
投資有価証券売却益	24,468	119,088
資産除去債務戻入益	—	16,190
その他	378	—
特別利益合計	24,915	137,669
特別損失		
固定資産売却損	101	365
固定資産除却損	8,937	65,604
災害による損失	8,169	—
投資有価証券評価損	—	102,196
特別損失合計	17,208	168,166
税金等調整前当期純利益	1,569,157	1,499,359
法人税、住民税及び事業税	413,761	254,137
法人税等調整額	19,828	195,651
法人税等合計	433,590	449,788
当期純利益	1,135,566	1,049,571
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,135,566	1,049,571



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,135,566	1,049,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,760	△62,661
為替換算調整勘定	△3,317	△945
その他の包括利益合計	△74,078	△63,607
包括利益	1,061,488	985,963
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,061,488	985,963
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,980,874	2,293,384	12,797,470	△159	17,071,569
当期変動額					
剰余金の配当			△358,777		△358,777
親会社株主に帰属する当期純利益			1,135,566		1,135,566
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	776,789	△2	776,786
当期末残高	1,980,874	2,293,384	13,574,259	△161	17,848,356

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	715,885	△8,484	707,401	17,778,970
当期変動額				
剰余金の配当				△358,777
親会社株主に帰属する当期純利益				1,135,566
自己株式の取得				△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△70,760	△3,317	△74,078	△74,078
当期変動額合計	△70,760	△3,317	△74,078	702,708
当期末残高	645,125	△11,802	633,323	18,481,679

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,980,874	2,293,384	13,574,259	△161	17,848,356
当期変動額					
剰余金の配当			△326,161		△326,161
親会社株主に帰属する当期純利益			1,049,571		1,049,571
自己株式の取得				△231,864	△231,864
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	723,409	△231,864	491,545
当期末残高	1,980,874	2,293,384	14,297,669	△232,026	18,339,901

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	645,125	△11,802	633,323	18,481,679
当期変動額				
剰余金の配当				△326,161
親会社株主に帰属する当期純利益				1,049,571
自己株式の取得				△231,864
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△62,661	△945	△63,607	△63,607
当期変動額合計	△62,661	△945	△63,607	427,937
当期末残高	582,463	△12,748	569,715	18,909,616

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,569,157	1,499,359
減価償却費	337,237	454,152
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	412	1,374
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,000	△88,658
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△20,400
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	△8,416
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	1,914
受取利息及び受取配当金	△74,773	△69,957
支払利息	1,136	461
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△24,456	△121,150
為替差損益 (△は益)	1,488	△1,470
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	—	102,196
固定資産売却損益 (△は益)	32	△2,024
固定資産除却損	4,337	36,777
売上債権の増減額 (△は増加)	△62,021	△204,781
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△271,117	△68,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	207,499	△96,497
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,463	△169,472
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△48,707	△95,288
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△79,322	169,750
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△2,500	△163,512
小計	1,567,866	1,155,693
利息及び配当金の受取額	75,671	72,347
利息の支払額	△1,130	△455
法人税等の支払額	△342,141	△478,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,300,266	748,911
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△162,000	△56,286
定期預金の払戻による収入	786,000	410,800
有価証券の取得による支出	△700,727	△678
有価証券の売却及び償還による収入	445,287	3,044,319
有形固定資産の取得による支出	△626,829	△1,604,822
有形固定資産の売却による収入	104	3,400
無形固定資産の取得による支出	△14,016	△72,258
子会社株式の取得による支出	—	△1,769,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△272,181	△45,002

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	—
短期借入金の返済による支出	△350,000	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△24,000	△32,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△378	△1,631
自己株式の取得による支出	△2	△231,864
配当金の支払額	△358,188	△326,723
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,569	△592,219
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,747	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	739,767	111,697
現金及び現金同等物の期首残高	2,700,291	3,440,059
現金及び現金同等物の期末残高	3,440,059	3,551,756

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社、東京支店、石原化美（上海）商貿有限公司及びキザイ株式会社に営業部門を置き、国内及び海外の需要先の業界と需要先の生産・販売の動向を包括した戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは対応する業界別にセグメントした「金属表面処理剤及び機器等」、「電子材料」、「自動車用化学製品等」及び「工業薬品」の4つを報告セグメントとしております。

「金属表面処理剤及び機器等」は、錫及び錫合金めっき液、化成処理液自動管理装置等の製造販売を行っております。「電子材料」は、マシナブルセラミックス及びエンジニアリングプラスチックの加工販売、炭素繊維強化プラスチックの販売を行っております。「自動車用化学製品等」は、自動車用化学製品、溶接用スパッター付着防止剤等の製造販売を行っております。「工業薬品」は、主に工業薬品の仕入販売を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象としていないため、記載しておりません。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	金属表面処理剤及び機器等	電子材料	自動車用化学製品等	工業薬品			
売上高							
外部顧客への売上高	7,819,842	532,496	2,572,646	4,831,714	15,756,700	—	15,756,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,819,842	532,496	2,572,646	4,831,714	15,756,700	—	15,756,700
セグメント利益又は損失(△)	1,189,841	△251,444	618,799	191,631	1,748,827	△281,786	1,467,041
その他の項目							
減価償却費	209,877	26,327	41,672	5,133	283,011	52,202	335,213

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△281,786千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	金属表面処 理剤及び機 器等	電子材料	自動車用 化学製品等	工業薬品			
売上高							
外部顧客への売上高	8,490,222	573,099	2,686,634	5,035,758	16,785,714	—	16,785,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,490,222	573,099	2,686,634	5,035,758	16,785,714	—	16,785,714
セグメント利益又は損失 (△)	1,051,915	△148,294	607,526	185,424	1,696,570	△249,267	1,447,302
その他の項目							
減価償却費	306,038	27,120	69,856	6,420	409,436	41,719	451,155

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△249,267千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,266.57円	2,353.89円
1株当たり当期純利益金額	139.26円	129.36円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,135,566	1,049,571
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,135,566	1,049,571
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,154	8,113

(重要な後発事象)

該当事項はありません。